

実践記録（中・特別支援学級・総合）

1 ねらい

名刺交換を通して、相手の興味をもっていることを知り、互いの共通点や違いを見付けることができるようにする。

2 手立て

- ・ 自分の好きな物を書いた名刺をデジピックスで作成し、互いに交換させる。名刺交換を1対1のペアで行うことで、名刺に書かれている内容で興味をもったことについて質問したり、質問に答えたりすることができ、互いの共通点や違いを知ることができると考えた。
- ・ 名刺交換時、会話が弾まないペアに対しては、教師が互いの共通点や興味をもてそうな話題を伝えることで、会話を活性化させる。

3 実践の様子

名刺は、写真、レイアウト、デザインを自分の趣味にこだわって作成させた。授業の始めに、各自が作成した名刺を渡したところ、生徒たちは喜び興味津々な様子であった。名刺交換の仕方を動画で確認したことで、5分程度の練習時間で交換の仕方を身に付けることができていた。また、見本として先生たちが楽しそうに名刺を交換する様子も見せると、生徒たちの笑顔も見られた。

名刺交換は、想像した以上に盛り上がった。【資料1】生徒たちは、受け取った名刺をまじまじと見つめた後、互いに興味をもったことについて質問し合った。「マリオのどのキャラクターが好きなのですか」「ガトリングがんで、もしかしてマイクラのゲームですか」など、普段の学校生活で進んで仲間に話をしない生徒同士が、趣味や好きな物を熱弁している姿は今までにない光景であった。会話が弾まないペアもいたが、教師が「〇〇君ってそんな趣味があったんだ」「〇〇さんと●●君って、二人とも△△が好きなんだね」など声掛けすることで、話し始めることができた。

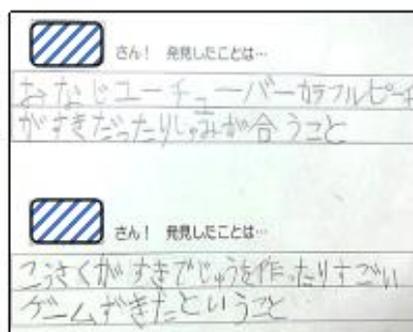
授業の終わりにアンケートを行い、名刺交換を通して仲間について発見したことを確認した。アンケートの回答には、仲間との共通点や今まで知らなかったことを記述する内容が見られ、互いのことを知るきっかけになったようであった。【資料2】

4 成果と課題

- 相手の名刺に興味をもつことから始め、相手自身への興味・関心へとつなげていくことができた。相手への興味を高める中で、互いの共通点や相違点に気付くことができた。
- 生徒の意向を尊重して名刺を作成したものの、名刺の字が見づらかったり、内容が分かりにくかったりするものがあり、読み取るのに手間取ってしまう生徒がいた。



【資料1】名刺交換をする生徒の様子



【資料2】相手との共通点に気付いた生徒の記述